

ジグソー公共「日本人の美しい生き方，提言します！～これから私はどう生きるべきか～」

- 【めあて】 1. 先哲の思想や自らの経験を手がかりに，日本人のよりよい生き方を深く考えよう。
2. 班で協力しながら発表準備をして，聞く側を引きつけるプレゼン力を高めよう。

《授業テーマ》

与えられた日本思想のテーマを大まかに理解して，そこから引き出せる日本人としての誇りや
これからの自分の生き方について，班でまとめた提言を，クラス全体に発表しよう。



《グループと基本的な流れ，目指すゴール》

4人が基本。決められた範囲の日本思想を大まかに読み取り，
それを分かりやすく解説した上で，
日本人の誇りやよりよい生き方を班でまとめて，クラスに提言する。
〈発表時間は3～4分程度〉。

ココ評価します！

聞き手を意識して工夫した内容
構成を考案し，ポイントを絞って
分かりやすく説明することがで
きましたか？

《テーマと条件・発表の流れと注意事項》

- | | | |
|-------------|------------|---------|
| A 古来日本人の精神 | E 日本の美意識 | I 幕末の思想 |
| B 聖徳太子と仏教 | F 朱子学と幕府 | J 明治の思想 |
| C 奈良から平安の仏教 | G 江戸の庶民の思想 | |
| D 鎌倉仏教 | H 国学 | |

【条件1】教科書の太字や人物全てを取り上げるのではなく，全体の流れや特定の人物に絞る。

【条件2】与えられたテーマと日本人の生き方を結びつけて，日本人のよい面を紹介すること。

【条件3】これから生きる自分たちが誇りとしていけるような美徳を全体に紹介し，共感を得ること。

《次の授業までに！》

- ①教科書や資料集を参考に，与えられたテーマの知識にあたる情報を班で協力して調べてくる。
調べておくのがよいのは，「人物」「思想のポイント」「時代背景」など。
②「日本人の誇り・美しい生き方」を班でまとめて発表してもらうので，“何となく”考えておく。

《発表の流れと注意すること》

- ①各班の発表時間は3分程度。長くても5分以内 **【ココ厳守！】**
*自分たちのテーマ(時代背景や人物紹介，キーワードなど)の説明……2分
*班として提言する「日本人としての誇り・美しい生き方」……1分
②注意事項 *教科書にある全ての人物・キーワードに触れる必要はない
*これからの自分たちの生活で意識できるような「身近なこと」で提言を作ること
*提言と自分たちのテーマがどう関係するかを分かりやすく説明すること

テーマに基づいて，
身近な例をあげなが
ら提言をつくり，分
かりやすく全体に伝
えられましたか？

ココ評価します！

準備

◀ 構想の整理！（しらべ学習ネタ帳，ストーリーメモ，提言・・・なんでもメモ） ▶

【テーマA】の場合

<生徒 a のメモ>

正直 日本人の道德観 ← 自然観や死生観と深い関わりアリ
 清き明き心 清き明き心・正直・誠
 和辻哲郎 「風土」日本人はモンスーン型 ← 受容的・忍従的

<生徒 b のメモ>

晴明心ーツミ・ケガレ ・日本人が忌み嫌うツミやケガレ…禊や祓いで取り除く。
 和辻哲郎ーモンスーン型 ・外来思想が伝播する以前の日本人の心「晴明心(清き明き心ともいう)」偽りのない心
 八百万神 ・イザナギとイザナミ，日本は神の国。自然物だけでなく人工物にも神が宿ると考える
 古事記・日本書紀 ・奈良時代に編纂された日本神話の原典。

- * 割り当てられたテーマを，グループ全員が教科書や資料集を参考に，ネット検索も活用して(実際のところ，ネットで調べてくるのが大半)，一定の知識部分については事前に調べておく(反転学習)。
- * 授業開始時に，事前に調べてきた情報をグループで共有し，知識を整理した上で，グループが与えられたテーマで「日本人の誇り」「日本人の美しい生き方」を考案する(協働・プレゼンテーション)。
- * 授業中もスマートフォンの利用を許可しており，調べてきた内容の補足やさらに追求したい事柄の検索など，グループで協力して発表準備をする(ICT機器の活用)。

【テーマA】の場合

<提言の第1案>

日本人の道德観は独特。日本神話を基に崇高なものを持っている。
 → 案1 「神の国日本に生きる我ら！ 世界に伝えよう，日本魂」
 ⇒ 現代には合っていないのではないかと？ 若者に響く形に変えたい。

<提言の第2案>

日本人の穏やかな気質を盛り込んで？ 自然ともマッチした日本人の生き方で。

<提言の最終案>

→ 案2 「受容的だがまん強い日本人。四季を愛でる国民性」
 ⇒ 他の班に伝えるには言葉が分かりづらい。もっと“刺さる”メッセージにしたい。
 自然とともに生きる日本人，表面的には分からなくても，心に息づく日本人の考え方
 → 発表案 「自然を愛し，自然に愛され，心に通い合う日本人魂」
 ⇒ 自然の脅威とも折り合いながら，心の底には言葉にできない日本人気質が存在

班	テーマ・キーワード	提言内容	自分なりに考察するところ, この提言から納得すること, 疑問をもつところなど
B	聖徳太子と仏教	この世は全てかりそめ。 仏こそが国家を救う。	聖徳太子は十七条憲法のイメージしかなかったけど、改めて聞いてみると仏教の力を強く信じていたことが分かりました。それまでの神の国の日本が、仏教の伝来に反発しなかったのか不思議である。
C	奈良から平安の仏教	天変地異を鎮めるには 仏教しか勝たん！	仏教の力をつかって国家を安定させようというのは、政治と宗教を別々にしなきゃいけない現代ではありえないことだけど、昔は宗教の力を借りてでも政治を安定させようというすがる気持ちが分かった。
D	鎌倉仏教	仏にすべて委ねる？ 自力で修行する？	悪い人間がむしろ極楽浄土に行けるという話は面白かった。健康に不安な人が病院に行ってお医者さんにすがるような人は死なないけど、健康と言い張って病院に行こうともしない人が死ぬのと似てる。
E	日本の美意識	以心伝心, 秘すれば華。	言葉にしなければ伝わらないことも多いけど、いちいち口に出さなくても分かり合えるのがいい関係に思えます。見えないもの、語られないものを読み取るところに、日本人のよさがあるように思う。
F	朱子学と幕府	自然に天と地があるように 人間にも上下の差はあり。	武士の世の中だと、上下関係はしっかり守られる必要があったように思います。でも、こじつけのような理屈で封建制度を正当化しようとしても、下の身分の人もすぐに見抜いてしまうのではないかと思う。
G	江戸の庶民の思想	つつましく, ただひたむきに	江戸時代に大名や公家といった上の人たちとは別に、庶民には庶民で独自の思想が生まれていたことに驚きました。身分社会の中で、庶民が「つつましさ」を美德として生活していたことが立派に感じた。
H	国学	取り戻せ日本のココロ！ 立ち去れ外来のものども！	私たちにも当てはまると思う。世界の情報がどんどん入ってきて、簡単に世界の音楽やアイドルにのめる辺りじゃうけど、日本人のよさを捨てずに、程よく海外のものに触れていければいいと思う。
I	幕末の思想	保守か革新か？ 時代に抗うのは無理か？	政治でいうとLGBTの権利を認めるとか、憲法 9 条を見直すという動きがあるので、時代やテーマが違ってても、時代の流れに乗るべきか、どうかの選択を常に迫られていることが分かった。
J	明治の思想	いまや, 女性も男性も 実に太陽であった！	女性の地位が低く置かれていた明治のころと、今とではどこまで改善されたのか。今もまた別の視点で女性問題があるし、男性への差別もあると思う。男女差別は永遠のテーマなのだろうか。

<考察>

発表を通して

他のグループの発表を聞いていると、自分たちが調べた内容とどこもつながっていると感じました。よいものや美しいものといった日本人の考え方やものの見方は、一つの軸のようなもので貫かれていると思います。ネットで調べていると、直接関係のないようなページにも目が留まり、興味深かったのでまた調べてみたいと思います。